

しば子先生の

ミ

ニ

ミ

ニ

芝生教室

第126回 ペンクロ



先生：グリーンスピードを上げるための低刈以外の方法としてはローラーをかけるのも簡単にできる対処法ね・・・一度のローラー掛けで1フィート早くなると言われているわ・・・でも効果は数日だけ・・・

生徒：なるほど・・・競技の直前なんかいいですね・・・

先生：でもグリーンスピードは本当に複雑な問題ね・・・

生徒：本当にそうですね・・・早すぎても駄目、遅すぎても駄目・・・天気や気候でも変わるし・・・いろいろ細かい管理方法を駆使して微調整していかないと・・・

の品種では大分違うのでしょうか？

先生：それはかなり違うと言っていいと思うわ・・・でもクリーピングベントグラスをこれだけ全世界に広めた功

績はペンクロスのものすごい実績ね・・・ペンクロス(Penncross)のPennはペンシルバニア州立大学のPennで、crossは掛け合わせっているという意味なのよ・・・

生徒：クロスは掛け合わせっているという意味なんですか？

先生：そうよ・・・ペンクロスの畑には3種類の違った性格を持つ元の種を順番に1-2-3-1-2-3と植えているのよ・・・そうすると1-1、1-2、1-3、2-2・・・とそれぞれ畑で互いに交配するので結果的に6種類ぐらいのそれぞれ違う性格の種が出来上がるのよ・・・

生徒：そうなんですか！！・・・じゃあ色が斑になるのも当然ですね・・・

先生：ペンクロスの目的はグリーンだけではなく、ティーでもフェアウェーでもラフでもどこで使われてもその中の何種類かのどれかが適応していい状態になるように開発されているのよ・・・

生徒：なるほど！！・・・じゃあグリーン専用というわけでは無いんですね・・・

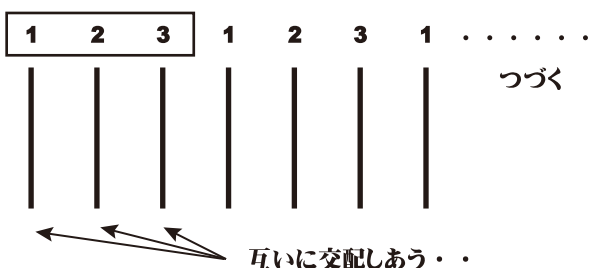
先生：一応グリーン用に開発したようだけど実際はフェアウェーとかいろいろなところで使われたわ・・・

生徒：なるほど・・・

先生：このペンクロスを開発したのはペンシルバニア州立大学のジョー・デュイ博士というベントの神様とも言われていた人で、私も何回か会ったことがあるけど・・・彼はたくさんのいろいろな種類のベントグラスの株を世界中の各地から集めていたわ・・・私が連れて行った千葉のゴルフ場のナセリからも一株持って帰ったわ・・・その無数にあるサンプルの株から理想のベントグラスを何回も何回も交配して作っていく気の遠くなるような年月の作業がこの博士のような芝のブリーダーの仕事ね・・・彼の遺作と言われるのがペンシリーズの中のAシリーズとGシリーズのベントグラス・・・これらは当時景気の良かったアメリカのゴルフ場がみんな目指した「オーガスタナショナル」のグリーン用に開発したと言われていたわ・・・

しば子先生への質問や励ましのメールはこちらへ・・・
shibako@hugh-enterprise.co.jp

ペンクロスの畑



先生：そうね・・・しかも芝を枯らしては元も子もない・・・良い芝生の種類を選択するのも重要ね・・・

生徒：やはり芝種によっても速さが違うのでしょうか？

先生：この品種を使えば何もしなくても早くなると言うことはあり得ないわ・・・ただより簡単に早くすることができて、しかも暑さや病害虫、すり切れストレスなどに、より抵抗性が高くなって楽にグリーンスピードを管理することが出来ると思うわ・・・

生徒：なるほど・・・そうであればそれを選択しない手は無いですね・・・

先生：そうね・・・ただ昔のように肥料を切って早くする方法では大きな違いは出にくいわね・・・

生徒：なるほど・・・やはり管理の基本をちゃんと理解しないといけないですね・・・

先生：確かに昔はクリーピングベントグラスと言えば『ペンクロス』しかなかったし、良い肥料が無い時代では致し方なかったのかもしれないけど・・・

生徒：やはりペンクロスと最近

